

道州制のあり方の考察

岡山商科大学学長補佐・経営学部教授 岡本輝代志

岡山商科大学・経営学部非常勤講師 竹本 昌和

(主要目次)

- ・道州制とは
- ・道州制における中国四国地方の位置づけ
- ・道州制のメリット・デメリット
- ・道州制の課題

(研究報告書のポイント)

本研究では、道州制の概念を捉え、道州制導入におけるメリット・デメリットを示し、また、中国四国地方における道州制の位置づけを明確にする。また、現在、政府の道州制ビジョン懇談会で、区割りの検討が進められているが、区割りについても考えを示すこととする。

- 道州制とは、都道府県を廃止し、広域的な自治体として道州を設置し、さらに、国の権限を道州に移譲することである。すなわち、真の地方分権型社会の確立のための制度として、道州制の導入が必要である。
- 道州制のメリット・デメリットについては、メリットとして、主に、社会資本整備、産業・経済医療・保健・福祉、農林水産業、雇用・人材育成、環境、行政、地域性などの分野で、デメリットとして、主に、行政サービス、歴史・文化、道州を運営する人材・能力、道州間競争などで事例を示している。
- 道州制の区域については、中国地方と四国地方は本州四国連絡橋により密接な関係性を築いている地域であり、住民生活に直結するインフラの整備または再構築において、広域的に管理・運営を行う必要がある。このことから、「中四国州」を一つの区域にする考えが最も適していると考えられる。
- 道州制に対する国民の意識としては、道州制に関心はあるものの、道州制の中身については、まだまだ理解されていない現状である。今後、道州制の導入を進めるにあたり、道州制の中身について理解を深めていく必要がある。